

防災団ニュース

(稲毛スカイタウン自治会・防災団 2023年9月発行)

熱中症警戒アラートが毎日のように、しかも連続して発表された今夏は異常な事態が続きました。

更に西日本では線状降水帯が多発するなど大変な事態となりました。

今年は関東大震災から100年です。2011年には東日本大震災も起きています。

大震災について、何時でも、どこでも対応できるように、まず自分で対応できるように備えてください。(自助)

震災に備えるのは高齢者だけではなく、若い世代にとっても大事なことです。

震災が発生した際、自分や、高齢者や子供を守るためにも、ご近所の方との情報交換を日頃から密にしておいてください。

頼りになるのは、ご近所 **(互近助)** の方です。

ご近所の方と電話番号の交換、災害時の安否確認方法などについて話し合ってください。

また、マンションにお住まいの方と、お互い顔なじみになるよう心掛けることが何より大切です。

朝夕に挨拶を交わす、マンションのイベント（マルシェ、防災訓練、夏祭り等）に参加するなど考えてください。

更に、災害時に自分が安否を確認する人は思い浮かぶでしょうが、自分に声掛けをしてくれる人を数人確保しておいてください。

震災時には、身の安全を確保しながら、近所の安否を確認してください。

防災団が安否確認を実施するには

どうしても時間がかかります。**(共助)**



防災団員は自宅の安全を確保したのち、直ちに管理センター前に集合し、「災害安心箱」に沿って行動してください。

震度6以上の地震が発生した場合は、建物内の排水管などが破損し使用できない可能性がありますので、管理組合の確認が取れるまで、絶対にトイレの水、風呂の水、炊事水等の排水はしないでください。

避難については、基本「マンション内在宅避難」です。